

2004年4月30日

2004年2月期 決算短信

会社名 株式会社 そごう
 代表者 代表取締役 内村 俊一郎
 本社所在地 神奈川県横浜市西区高島二丁目18-1
 問合せ先責任者 株式会社ミレニアムリテイリング
 取締役財務経理本部長 大道 基樹
 TEL 03 - 6213 - 7172

決算取締役会開催日 2004年4月30日

定時株主総会開催日 2004年5月27日

1. 当期の業績 (2003年3月1日から2004年2月29日)

(1) 経営成績

金額表示：百万円未満切捨

	総売上高	前期増減率	営業利益	前期増減率	経常利益	前期増減率
当期	448,211	(1.3%)	13,265	(+99.4%)	14,013	(+73.5%)
前期	454,164	(1.3%)	6,654	(+751.9%)	8,075	()

	当期純利益	前期増減率	1株あたり 当期純利益	総資本 経常利益率	総売上高 営業利益率	総売上高 経常利益率
当期	13,574	(45.7%)	52,210 円 97 銭	4.8%	2.9%	3.1%
前期	25,021	()	96,238 円 17 銭	2.6%	1.4%	1.8%

(2) 配当状況

	一株当たり年間配当金			配当金総額 (年間)	配当性向	株主資本配当率
	期末	中間				
	円 銭	円 銭	円 銭			
当期	-	-	-	-	-	-
前期	-	-	-	-	-	-

(3) 財政状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
当期	284,348 百万円	4,825 百万円	1.7%	18,561 円 30 銭
前期	304,935 百万円	8,863 百万円		34,092 円 17 銭

期末発行済株式数 当期 260 千株 (1 単位の株式数 1,000 株)

前期 260 千株 (額面株式 1 単位の株式数 1,000 株)

2. 次期の業績予想（2004年3月1日～2005年2月28日）

総売上高	営業利益	経常利益
455,000 百万円	16,000 百万円	14,000 百万円

3. 経営成績及び財政状態

(1) 経営成績

当期の経営成績につきましては、以下の通りとなりました。

- ・ 総売上高 4,482 億円
前年差 59 億円。内店舗事業 65 億円、外商事業 +6 億円。
年間の増減率は 1.3%ですが、下期は +0.2%の増収となりました。
* 構造改善実施店舗計の増減率は +1.8%（未実施店舗計 4.7%）
- ・ 営業利益 132 億円
店舗構造改善の効果もあり、前年倍増の大幅増益（+66 億円）となり、過去最高額となりました。
内訳は、営業総利益 1,180 億円（1 億）、販売管理費 1,047 億円（67 億）となりました。
なお、総売上高営業利益率は、2.9%（前年差 +1.4%）となっております。
- ・ 経常利益 140 億円
前年差 +59 億円。
- ・ 当期純利益 135 億円
前年差 114 億円。なお、前年は厚生年金代行返上益 189 億円を計上しております。

(2) 財政状態

当期の財政状態につきましては、以下の通りとなりました。

- ・ 総資産 2,843 億円
前年差 205 億円。主な増減の内訳は、大宮店、広島店の店舗構造改善等設備投資 +111 億円、不動産の売却 137 億円、減価償却 87 億円、除却 90 億円などとなりました。
- ・ 総負債 2,795 億円
前年差 342 億円。内、借入金は、担保付資産の処分に伴う返済などにより 215 億円となっております。
- ・ 自己資本 48 億円
前年差 +136 億円。債務超過を脱するとともに、欠損金についても、解消することができました。

< 自己資本額の推移 >

02年2月期	03年2月期	04年2月期
339 億円	88 億円	48 億円

(3) 2005年2月期に対処すべき課題

次年度につきましては、持続的な利益改善に向けて、下記施策に取り組んでまいります。

・グループとしての取り組み

売場再編計画の推進と要員構成の適正化

顧客戦略の再構築と顧客対応力の強化

店舗構造改善計画の推進

・当社の取り組み

1) 複合商業施設化のさらなる推進

・構造改善実施店舗：広島店（3月、6月）

・他店舗においては、マーチャンダイジングミックス、快適空間の提供、イベント・エンターテインメント企画の充実を図る。

2) マチュア顧客対応強化の本格化

・「シニア・マチュア」対応の重点15売場を中心に、マーチャンダイジング及び企画の充実を図る。

3) パーソナルマーケティングの推進

・「顧客をつくる」売場活動、「顧客を守る」店舗活動の推進。

・「顧客を感動させる」パーソナルなサービスの積極的な提供を行う。

・「係長を中心とする」業務設計に変更する。

4) 心斎橋プロジェクトの本格的な推進

・心斎橋店開店準備室が本格稼動。お客さまづくりを中心に本格的な開拓活動に取り組む。

・関西エリア戦略の推進を行う。

ミレニアムリテイリンググループとして、(株)西武百貨店をはじめとするグループ会社とのシナジー経営を生かし、更なる企業価値の向上を図ってまいります。

比較貸借対照表

(単位：百万円)

	当事業年度 (04.2.29)	前事業年度 (03.2.28)	増 減 高
(資産の部)			
流動資産	60,532	54,096	6,436
現金及び預金	32,141	23,133	9,008
売上債権	8,769	7,740	1,029
棚卸資産	9,530	12,310	2,780
その他	10,143	10,946	803
貸倒引当金	53	34	19
固定資産	223,816	250,838	27,022
有形固定資産	121,128	141,056	19,928
建物等	71,150	81,378	10,228
土地	49,977	59,678	9,701
無形固定資産	19,775	19,383	392
投資等	82,912	90,398	7,486
投資有価証券	2,208	2,143	65
長期貸付金	31	57	26
差入保証金	72,782	75,893	3,111
その他	8,790	13,762	4,972
貸倒引当金	900	1,458	558
資産合計	284,348	304,935	20,587

	当事業年度 (04.2.29)	前事業年度 (03.2.28)	増 減 高
(負債の部)			
流動負債	128,063	133,244	5,181
買入債務	17,423	17,226	197
短期借入金	79,497	73,128	6,369
未払金	8,821	12,780	3,959
商品券	9,752	13,932	4,180
その他	12,568	16,176	3,608
固定負債	151,459	180,554	29,095
長期借入金	141,317	169,282	27,965
退職給付引当金	4,162	6,701	2,539
その他	5,979	4,570	1,409
負債合計	279,522	313,799	34,277
(資本の部)			
資本金	130	130	0
資本剰余金	500	37,709	37,209
利益剰余金	4,051	46,732	50,783
(うち当期純利益)	(13,574)	(25,021)	(11,447)
評価差額金	144	29	115
資本合計	4,825	8,863	13,688
合計	284,348	304,935	20,587

比較損益計算書

(単位：百万円)

	当事業年度 (03.3.1~04.2.29)	前事業年度 (02.3.1~03.2.28)	増 減 高	前年増減率 (%)
総 売 上 高	448,211	454,164	5,952	1.3
その他の営業収入	4,455	4,407	48	1.1
営業収益計	452,667	458,571	5,904	1.3
売 上 原 価	334,648	340,484	5,835	1.7
販売費及び一般管理費	104,752	111,432	6,679	6.0
営業費用計	439,401	451,917	12,516	2.8
営業利益	13,265	6,654	6,611	99.4
受取利息・配当金	152	267	115	43.0
その他の営業外収益	2,919	2,888	30	1.1
営業外収益	3,072	3,156	84	2.7
支 払 利 息	953	1,149	195	17.0
その他の営業外費用	1,370	586	784	133.6
営業外費用	2,324	1,735	589	33.9
経 常 利 益	14,013	8,075	5,938	73.5
特 別 利 益	13,100	34,508	21,408	62.0
特 別 損 失	13,492	17,529	4,037	23.0
税引前当期純利益	13,621	25,054	11,433	45.6
法人税、住民税及び事業税	46	32	14	44.0
当 期 純 利 益	13,574	25,021	11,447	45.7

(注) 前事業年度の数値につきましては合併に伴う調整をした上で表示しております